

ほけんだより

子ども健康部 幼児課 令和6年 5月号外

おくがい きけん むし ちゅうい 屋外での危険な虫にご注意⚠

5月に入り、だんだんと暑くなってきましたね。

暑くなってくると、さまざまな虫と出会うことが多くなりますが、触れると危険な虫も多くいるので注意が必要です。

アオバアリガタハネカクシ(やけど虫)



出典:田辺三菱製薬ホームページ

大きさは6~7mmで、アリのような姿をしています。

水田、畑、湿った草地などでくらしています。

人を攻撃してくることはないですが、手で払い落そうとしたときに触れて、虫の体液が付き、ミミズ腫れや水ぶくれのようなやけどに似た炎症を起こします。

うっかり触ってしまった場合は、ただちに水で洗い流しましょう。痛みなど、我慢できない場合は皮膚科を受診しましょう。

体液が目に入った場合は、水で洗い流し、眼科を受診しましょう。

ヨコヅナサシガメ



大きさは16~24mmで、黒くてツヤツヤしています。

公園や街路樹などの、サクラ・ケヤキ・ヤナギといった高い木を中心にくらしています。

危険を感じると身を守るために、刺すことがあります。刺されると、チクツとした痛みがして赤く腫れることがあります。

刺された場合は、水で洗い流し、その後冷やしましょう。

抗ヒスタミン軟膏をぬり、症状がひどい場合は、病院を受診しましょう。

被害にあわないために・・・

これらの虫たちは、人を狙って攻撃してくるタイプではありません。

見つけたときは、触らずに、そっとしておきましょう。

また、虫がくらしていそうな場所へ出かけるときは、長そで、長ズボンを着用し、首にはタオルを巻くなどして肌の露出を避けると良いでしょう。

危険な虫も大切な命です。虫たちのくらしを守りながら、自分たちの身も守れると良いですね!

参考

アース製薬:キケンな虫の虫ケア図鑑
国立環境研究所ホームページ
田辺三菱製薬ホームページ

おくがい きけん はな ちゅうい 屋外での危険な花にご注意⚠

だんだんとあつくなって、むしとであいのほかに、さまざまなばしょで、はなをみることも多くなるかとおもいます。
はなの中にはどくをもったものがあります。ちゅういしましょう。

スズラン

ほっかいどうやとうほくちほうのこうざんにじせいするたねんそうですが、各地の庭などに園芸用として栽培されています。
夏のはじめに花が咲き、芳香があり、香水の原料にもなります。スズランを差した花ビンの水を飲んでも、中毒を起こすことがあります。
切り花で使う場合には、飾る場所に気をつけましょう。



出典:NHK クリエイティブライブラリー

ナガミヒナゲシ



出典:厚生労働省ホームページ

ナガミヒナゲシの開花時期は4~6月で、繁殖力が高いのが特徴です。
どくをもつため、素手で触ると皮膚がかぶれる恐れがあります。
触らないようにしましょう。

アジサイ

日本原産の園芸植物として世界各地に広がり、100種以上の品種があります。

5~7月に開花します。

2008年に、料理に添えられた葉を食べて、食中毒が起こったことがあり、食用としては避けるべきだといわれています。
口にしないようにしましょう。



出典:厚生労働省ホームページ